

# 中間市教育委員会

## 定例教育委員会会議録

(平成29年8月)

- 1 日 時 平成29年8月2日(水) 10時00分
- 2 場 所 市庁舎 本館 第一委員会室
- 3 出席委員 河本委員(教育長職務代理者) 衛藤委員 齋田委員 坂口委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局出席者 田中教育部長 片平学校教育課長  
森学校教育課指導室長 古賀生涯学習課長  
池田学校教育課長補佐 日下部生涯学習課長補佐  
村上教育総務課長 小林教育総務課総務係長
- 6 傍聴人 4人
- 7 議事日程 別紙のとおり
- 8 議事次第 別紙のとおり

# 定例教育委員会議事日程

平成29年8月2日（水）10時00分

- 1 前回の議事録の承認
  
- 2 報告事項
  - (1) 平成29年8月学校教育行事及び社会教育行事について
  - (2) その他
  
- 3 協議事項
  - (1) 平成29年9月定例教育委員会の開催について
  - (2) その他
  
- 4 議決事項
  - (1) 第22号議案 平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果について
  - (2) 第23号議案 平成29年度一般会計補正予算について

[開会時刻：10時00分]

河本委員 (教育長職務代理者)	これより、平成29年8月の定例教育委員会を開催いたします。最初に、7月の議事録の承認をお願いいたします。何かおありの方はどうぞ。
各委員	ありません。
河本委員	それでは承認ということでよろしくをお願いいたします。 次に、報告事項に移ります。平成29年8月学校教育行事及び社会教育行事について、まず学校教育行事から説明をお願いします。
片平学校教育課長	<p>はい。共通行事ですが、出校日が4日金曜日です。東小、東中はトイレ改修工事及び受水槽・下水管工事によりトイレが使えないため、出校日を設けていません。4日午後から中間市の全教員が参加する研修会が中央公民館で行われます。本年度は、子どものパフォーマンスマネジメントとインクルーシブ教育と題しまして、福岡教育大学特別支援教育講座の藤金倫徳教授からご講話をいただき、特別支援教育について研修してまいります。25日金曜日が始業式です。29日から給食が始まります。北九州教育事務所の事業ですが、19日、27日に「心と体の発達教育相談」が行われます。就学前の子どもに関する、就学や子育てに関する相談事業でございます。臨床心理士が相談を受けます。</p> <p>小学校行事です。各学校において、夏休み期間中に校内研修や職員会議を計画しております。特に校内研修については、気になる子どもの指導について事例検討等を行うように計画しております。</p> <p>中学校行事です。29日火曜日に「命の大切さを学ぶ講演会」を行う予定にしております。これは昨年度から実施している事業ですが、国の自殺対策強化事業の補助金を受けたもので、中学3年生を対象に自殺防止、命の尊重をテーマとした講演会を実施します。今年度は、子育てシンガーのmonさんを講師として招き、歌と語りで命の大切さを訴える講演会を予定しております。monさんは糸島市在住のシンガーソングライターで、2人の子どもを育てながら、小中学校、高校、ホールを中心に年間120ヶ所でコンサートを行っています。「生まれてきてくれてありがとう」という「いのち」をテーマに、透明感あふれる歌声と合間に入れるお話で親から子どもへの愛情や思いを視聴者へ届けます。これまでの講演でも非常に好評を得ております。学校教育行事は以上です。</p>

河本委員

このことについて、ご質問などありましたらどうぞ。

衛藤委員

はい。それではいくつか質問します。まず、共通行事ですが、21日に「福岡県人権教育研修会」があげられています。これは斜体の文字になっているので県主催と理解しておりますが、今までは、夏休み中に県の同和教育研究団体等が実施していた研究会がありました。それが今はどういう形になっているのか分かりませんが、そういった内容のものを県が行うということなのか、内容について1点です。

もうひとつは、「命の大切さを学ぶ講演会」について、片平課長から具体的に詳しい説明があり、大変いい行事だと思います。会場はハーモニーホールでしょうから、せっかくなら3年生に限らず中学生全員を対象にしてはどうかと思います。収容できると思いますので。命を大切にするということは、すべての子どもにとって大切なことですので、今年は無理かもしれませんが、来年はもう少し規模を拡大することも検討していただいたらということで、質問と意見です。

それからもうひとつは、「小・中学校授業力向上研修」が30日に入っていますよね。これは、学力向上に対する先生方の取り組み等について具体的に研修される場だと思いますが、これはどういう方が参加して、どういうふうな形で行われるのか、もう少し内容がわかりましたら教えていただきたいと思います。

最後に、東小と東中は工事の関係で出校日は設けないという話でしたが、通常であれば、出校日に8月6日の平和教育を実施していると思います。東小、東中はどこか別の時期にされるんだろうと思いますが、どういう計画があるのか、お分かりになりましたら教えていただきたいです。以上4点です。

河本委員

はい。説明をお願いいたします。

森学校教育課  
指導室長

はい。それでは順に回答いたします。21日の福岡県人権教育研修会についてですが、以前は県同教の主催で行われていた研修会を、福岡県教委に移管したものになります。内容については、年間3回実施されておまして、1回目と2回目がこの夏休み時期、7月と8月に行われます。今回は2回目で、1回目は7月下旬に実施されています。学校教育部門に係る内容で、主に講演と実践発表を柱として行われています。3回目は2月に実施されます。こちらは社会教育部門に係る内容で、個別の人権課題に関して、専門的な講師を招へいしてご講演いただきます。

次に「命の大切さを学ぶ講演会」の対象学年についてです。実は、福祉支援課で、各中学校の1、2年生を対象に自殺防止のための出前授業が行われています。そこで、昨年、この事業について検討するにあたり、対象を3年生とした経緯があります。会場はハーモニーホールの大ホールですので、そこでの収容人員等も含めて検討してまいりたいと思います。ご意見ありがとうございます。

次の「小・中学校授業力向上研修」ですけれども、こちらは北九州教育事務所の主管研修です。経験5年目前後くらいの若手教員を対象としたもので、年間5回を目安に行われます。1回目に全体研修を行い、2回目以降は教科ごとに分かれてそれぞれ指導案を作り、3～4人のグループで互いに授業を公開し合って、最後に年間のまとめを行うという形で行われております。実践的に授業力を向上させていこうとするもので、指導主事が各グループに1人ずつ付きますので、かなりきめ細かく指導できるものとなっています。

出校日の平和学習については例年、広島原爆の日に合わせて行っておりますが、本年度は先ほど説明がありましたとおり、東小、東中は実施できません。そのため、出校日に行う予定だった内容を1学期末に実施しているということを確認しております。以上です。

河本委員

はい。よろしいですか。

衛藤委員

「命の大切さを学ぶ講演会」は、確か昨年度にテレビの取材が入って、中学3年生がインタビューに答えていましたよね。その時、子どもが非常にいきいきと答えていて、1年生や2年生も十分理解できる内容だということその時感じましたので、提案いたしました。

河本委員

他に何かありませんか。

では私からひとつ質問なんです、学校にエアコンが導入されたことで夏休みが短くなりましたけど、そのことで先生方が大変になったことはないでしょうか。夏休みが短くなったことで、共働きの親が困っているということテレビで見ましたもので。中間市の場合は5日間くらいの短縮ですが、その時取り上げられていたところはもっと短くなっていましたけれど、何か困った状況はないのか、もしくは、授業時数の確保等でかえって楽になったことがあるのか、分かる範囲内で教えていただけたら、お願いいたします。

片平学校教育課長	<p>はい。夏休みは実質7日間短縮しております。そこで生まれた授業時数については、学力向上の授業に充てたり、台風等による臨時休校で欠けた授業に充てたりしています。また、学期末に授業を短縮し、先生方の事務処理等の時間を確保するなど、柔軟に活用しています。</p> <p>それから、共働きの家庭が非常に困っているということですが、逆に子どもを学校に預けられて、給食も出るから非常に助かっているという話は聞いております。</p>
河本委員	<p>そうなんですね。</p>
片平学校教育課長	<p>25日以降に実施される県の研修会等があり、それに参加する場合は授業が始まっていますので、参加体制をとることが難しいという意見もあります。</p>
河本委員	<p>全体的に先生たちは楽になったという感じでしょうか。</p>
片平学校教育課	<p>楽になったというよりは、5日間授業数を増やしたことで、時間をいろいろ活用できて効果が上がっているのではないかなと思います。</p>
河本委員	<p>分かりました。他に何かおありでしたら。よろしいですか。 では次に、社会教育行事について説明をお願いいたします。</p>
日下部生涯学習課長補佐	<p>はい。8月行事予定表をご覧ください。生涯学習課の欄です。2日水曜日「子ども料理教室」の2回目があります。4日金曜日、中間市働く婦人の家運営委員会が予定されております。8日火曜日、公民館は休館日ですが、「子ども探検隊」の2回目ということで、JR西日本博多総合車両所へ行く予定でございます。10日木曜日「第62回福岡県公民館大会」が筑後市で行われますので、こちらに出席する予定でございます。17日木曜日「世界おもしろ話」の2回目があります。今回はオーストラリアの先生を講師にお呼びする予定です。18日金曜日「図書館大冒険～お宝を探せ～」ということで、子どもの読書活動充実事業が行われる予定でございます。21日月曜日「子ども探検隊」第3回目は、福岡県警本部を訪問する予定です。22日火曜日「なかまっ子陸上教室&amp;安川電機工場見学」が予定されております。27日「第40回子どもまつり」が中間市子ども会育成連絡協議会の主催により行われる予定でございます。中央公民館においては、講堂でやっちゃん太鼓やダンスが披露される予定です。28日月</p>

曜日「2017コミュニティ文化祭実行委員会」が行われる予定でございます。

図書館の欄をご覧ください。6日曜日「『調べる学習講座』基礎編」として、夏休みの自由研究に役立つ講習が行われる予定です。19日土曜日は「おはなし会」と「親子で食育教室」が予定されております。20日曜日「『調べる学習講座』応用編」、これも夏休み用の講座でございます。

ハーモニーホールにおきましては、20日曜日に「スタインウェイピアノリレー」が行われる予定でございます。

生涯学習センターにおきましては、8日火曜日「夏バテ防止！発酵食品の料理」ということで、講習が行われます。19日金曜日、夏休み講座といたしまして「多肉植物のフラワーフレーム作り」が行われる予定でございます。以上、簡単ではございますが、概略をご説明いたしました。

河本委員

このことについて、ご質問などおありでしたらどうぞ。

衛藤委員

はい。2点ほどお願いいたします。まず生涯学習課の行事ですが、4日に「中間市働く婦人の家運営委員会」が計画されています。前々回の教育委員会の際に、学識経験者を中心に運営委員を決められていたので、利用者は運営委員会に入っていないのですかとお尋ねしたら、利用者の立場である方も運営委員会に入っているというお答えでした。そこで、運営委員会は利用者の意見が反映されるような会議内容になっているのかどうか、そのあたりの内容をお尋ねしたいというのが1つです。

もうひとつは、22日「なかまっ子陸上教室&安川電機工場見学」というのがありますが、陸上教室ということであれば、提携しているミズノさんが担当されるのではないかと私は思ったんですが、「&安川電機」と書いているからですね。これはセットだろうと思いますので、この内容を教えていただきたいというのがひとつです。以上です。

古賀生涯学習課長

はい、お答えいたします。まず、働く婦人の家運営委員会についてのご質問ですが、前々回の教育委員会で私がよく認識しておりませんで、大変申し訳ありませんでした。確認したところ、学識経験者である運営委員会会長は、陶芸教室を通して婦人の家を利用されています。会長を通して、利用者の意見がいろいろと反映されています。

委員会の内容としては、太極拳、バウンドテニス、ソフトバレー等、各事業の報告があります。また、平成28年度の利用者状況が報告されます。簡単に申し上げますと、利用件数は1,111件、利用者数は14,368

人、自主サークル活動団体が18団体、7,249人の利用があったということです。また、平成29年度分の事業計画についても協議及び報告があります。

次に、陸上教室と安川電機の件ですが、ご指摘のとおり、中間市はミズノと委託契約を結び、体育活動に関してご協力いただいております。ただ、今回の件は安川電機の協力による事業となります。底井野にロボット工場が設置されたことで、安川電機には市の事業にいろいろとご協力いただいているところですが、世界陸上競技選手権ロンドン大会に安川電機所属の中本健太郎選手が出場するというので、陸上競技に関しても中間市に何か貢献できないかということで、安川電機から産業振興課にお尋ねをいただいたそうです。それで、産業振興課から当課の体育スポーツ振興係に繋がりまして、陸上教室を開いていただくことになりました。本当は市内全域から募集をしたかったんですが、講師の都合で20名程度が限度ということで、募集にあたっては「なかまっ子元気スポーツクラブ」という任意で入るクラブがあるんですが、そこを利用している子どもたちを対象といたしました。せっかくですから、陸上教室が終わった後にロボット工場も見学してはどうかということで、こういった企画がされている次第です。以上です。

衛藤委員

陸上教室の会場はどこですか。

古賀生涯学習  
課長

体育文化センターです。炎天下ですし、時間的にも午前中になりますので、外で行うのは厳しいということで、体育館で実施します。

衛藤委員

今年初めての事業でしょうけど、来年度も計画する予定はあるんですか。

古賀生涯学習  
課長

年度計画等は立っておりませんが、安川さんのご厚意をいただければ、お願いしたいなと思っております。

衛藤委員

もし続くのであれば、今、小学4年生が10月頃に走力記録会を毎年やっていますよね。一部の学校では指導者が入っているようですが、全小学校の子どもたちを一同に指導してもらえれば記録も伸びるでしょうし、やる気もさらに増すと思います。中本健太郎さんといったら大変有名ですから、子どもたちはいきいきと目を輝かせて参加するのではないかなと思います。これは意見です。

古賀生涯学習課長	はい、来年以降、また検討したいと思います。
河本委員	お願いします。他に何かありませんか。
坂口委員	生涯学習センターの事業で、8月は旅行の企画はないのでしょうか。6月18日に広報の件でご指摘をいただいて、法律を遵守した形に修正して広報されていると思いますが、8月は行わないのでしょうか。
古賀生涯学習課長	はい。8月分まで修正前のチラシに掲載されていたため、中止になっております。9月や10月は事業が最も盛んな時期ですので、どんどん企画されると思います。
坂口委員	はい、了解いたしました。
河本委員	他に何かありませんか。
衛藤委員	別件でいいですか。一市民としてお尋ねするんですが、この度の豪雨被害を受けて、朝倉方面が本当に大変だということで、テレビで見えておりました。例えば北九州市は職員を派遣したとか、こういう支援をしたという話は入るんですが、中間市がどういう支援をしているかという情報が入ってこないんですよね。市民としては、中間市も何か貢献しているんだろうとは思いつつ、具体的に何をやっているのかというのが見えてこないの、中間市はどういう支援をしたのか、教えていただけたらと思います。分かる範囲で結構です。
古賀生涯学習課長	はい。中間市では、1年目、3年目、5年目の職員を対象とした研修の計画があったんですが、それを災害派遣に変更しております。生涯学習課からは3名が対象となっており、順次派遣される予定です。1名は既に先日行っておまして、流された電化製品をリサイクルするために、泥まみれになった電化製品を一か所に集めて洗浄し、きれいにしてリサイクル業者に引き渡す作業にあたったということです。
村上教育総務課長	それと、自治労中間市職員労働組合からも若手職員の有志を募って、朝倉市等に派遣をしているということです。

河本委員	はい。報告事項で他に何かおありでしたらどうぞ。
村上教育総務課長	明日8月3日から4日にかけて、宮崎市で九州地区市町村教育委員会研修大会が開催されます。河本委員と衛藤委員にご出席いただくこととなっておりますので、よろしくお願いたします。事務局からは小山田が同行いたします。以上でございます。
河本委員	他に何か、ありませんか。
森学校教育課指導室長	以前ご提案いたしました、10月1日に行われる小学校体育会のご参加の確認でございます。底井野小は田中部長、東小は既に終わりましたが、齊田委員にご参加いただいております。中間小は教育長、北小は河本委員、南小は衛藤委員、西小は坂口委員にお願いしております。よろしくお願いたします。
河本委員	お願いたします。他に何か、ありませんか。
古賀生涯学習課長	<p>前回の行事予定で挙げておりました、平成29年度第2回中間市イングリッシュキャンプの報告をいたします。日程は、7月23日日曜日から翌24日月曜日までの1泊2日で、場所は篠栗町の社会教育総合センターで行いました。参加人数は40名を予定しておりましたが、体調不良のため1名欠席になりまして、39名で実施しております。対象は市内小学校5、6年生です。スタッフは16名で、ALT4名、福岡教育大学教育学部英語専攻コースの学生が8名、生涯学習課職員4名で対応いたしました。</p> <p>内容としましては、英語を用いた活動や宿泊体験を行うことにより、英語コミュニケーション能力の素地を育成するとともに、英語を用いて国際社会で活躍したいという意欲等を高めるため、さまざまな活動を実施いたしました。具体的な活動内容は、野外炊飯や外国の遊び、身体を使った英語の授業など、児童を飽きさせない内容であったと思います。また、日常会話も基本的に英語しか話さないため、児童は聞き逃さないように必死でリスニングをし、理解しようとしていました。このようなことはイングリッシュキャンプでしか得られない貴重な体験であり、非常に有意義な時間を過ごせたと思います。</p> <p>改善点としては、非常に暑い時期に実施したこともあり、就寝時になかなか寝付けなかったということと、スケジュールには余裕を持たせたつもりでしたが、やはり一部の活動が長引いて、次の活動が遅れることがあり</p>

ました。3年目は授業の内容をもっと精査しながら、計画を立てていきたいと思います。

私も見に行きましたが、本当に有意義だったと思います。具体的には、授業と授業の間に何分休憩するか、何と何をしてまたここに戻ってきなさい、こうした指示を英語で言われるわけです。だから子どもは自分が聞いておかないと、遅れてしまうわけです。人についていけないわけですね。生活の中で、自分が聞いた英語を理解して行動しないと取り残されるという危機感を持つことになり、非常に内容的にも意義のあったものだと思います。ぜひ3年目以降も続けていきたいと思っています。以上です。

河本委員

他に何か、ありませんか。

片平学校教育  
課長

7月中旬から、中体連等の大会が行われています。どの部活動も日頃の練習の成果を遺憾なく発揮しており、私もできる限り応援に行きましたが、勝敗に関係なく、生徒の真剣な姿には大変感動いたしました。結果は次回の教育委員会で詳しくご報告しますが、現在把握しているもので県大会まで出場した部活動は、中間中と東中の女子バレー合同チーム、中間中の剣道個人女子、柔道個人女子。北中の陸上競技男子200M、水泳100M背泳ぎ3年女子、バトミントン個人2年女子。東中は先ほど言いました中間中と合同の女子バレー、柔道男子団体、柔道男子個人、相撲個人、卓球男子団体、卓球女子個人及び団体、吹奏楽が筑豊地区大会で金賞を受け県大会出場。南中は水泳個人3年男子100M背泳ぎ、100M平泳ぎ、3年女子400M自由形、200M背泳ぎ、1年男子100M平泳ぎ、200M平泳ぎ、バトミントン個人1年男子。今の段階で把握しているのは以上です。子どもたちは本当によく頑張っております。日頃の練習の成果を遺憾なく発揮している姿、本当に感動を受けました。以上報告です。

河本委員

ありがとうございました。他にありませんか。

森学校教育課  
指導室長

ALTの異動についてご報告いたします。3年間、中間市のALTとして子どもたちの英語教育にあたっていただいたケルシー先生が、7月31日の勤務をもって退職され、昨日帰国されました。後任はアレクサンドラ・フィオナ・ドクサス先生です。8月1日から勤務されており、通常はフィオナ先生とお呼びしています。フィオナ先生はアメリカ・コロラド州のご出身です。非常にまじめで、読書が大好きな23歳の女性です。東小、東中の担当になりますので、7月下旬に一度、ケルシー先生たちと一緒に

学校へ出向き、引き継ぎを行っております。以上、ご報告いたします。

河本委員

他に何かおありでしたら。よろしいですか。

それでは、協議事項に移ります。9月の定例教育委員会について、ご提案をお願いいたします。

村上教育総務  
課長

はい。9月定例教育委員会の日程ですが、予定どおり8月30日水曜日10時から、第1委員会室で開催したいと考えております。以上でございます。

河本委員

はい、よろしいですか。

各委員

はい。

河本委員

よろしくをお願いいたします。協議事項その他、おありでしたら。ないですか。

それでは議決事項に移ります。最初に、第22号議案平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果について、説明をお願いします。

村上教育総務  
課長

はい。資料の3ページでございます。第22号議案平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、委員会の議決を求めるものでございます。

別紙で結果報告書を添付しております。この点検及び評価の結果報告書は、平成28年度に実施した教育委員会の活動状況及び教育施策の推進状況について、教育委員会事務局自ら点検、評価を行った結果につきまして、学識経験者である2名の評価委員からいただいた意見を巻末に掲載し、報告書としてまとめたものでございます。なお、この報告書は議決いただいた後で9月市議会へ提出するとともに、市のホームページで公表するものとしております。ご審議のほど、よろしくをお願いいたします。

河本委員

このことについて、何か質問等おありの方はどうぞ。

衛藤委員

議決事項ということですから、質問、意見等含めて今申し上げた方がいまいちだと思います。読んでみたら結構質問も意見もあるので、ページを

追ってお願いいたします。

まず、12ページと13ページでは「確かな学力の育成」について事務局の考え方が述べられているんですが、ひとつ質問したいのが、12ページの一番下「事業の課題・改善策」のところに「小中連携学力アップ推進協議会」の他にもうひとつ、「中間市学力向上検討委員会（仮称）」というのが挙がっています。これは仮称となっていますから、今後検討していくのでしょうか、どちらも共に学力アップを目的にした会議のようです。これは2つも設ける必要があるのかというのが質問の1点です。

もうひとつはその上、28年度の事業を通して「教員の学力向上への意識が高まった」と、「意識」という表現をしているんですね。これは「意識」を高めるだけでいいのかなと。「認識」を高めないといけないのではないか、教員の認識を高めないと、学力向上の力にはなり得ないのではないかと思います。去年教育委員会が取り組まれた内容を考えれば、「意識」よりも「認識」という言葉の方が適切ではないかなと私は思います。これは意見も含めてですね。

それから、17ページ上から3段目「事業の効果等」のところでは、給食実施の効果について「給食を楽しみにしている児童生徒が増えた」、また「心が豊かになり問題行動の減少に繋がった」と書いています。非常にいいことだと思うんですよ。ところが具体的な数値が何も示されていないので、どこがどんなふうに減少したのかを書けば、これを読んだ市民も非常に心強く感じられると思うんですよ。だから言葉で終わらずに、数値的なものをお示しになったほうがいいのではないかと、というのが意見として思います。

18ページ「児童生徒の心と身体の健全育成」の「事業の目的」上から4行目、「安全・安心な子供の活動拠点」とあり、「子供」の「供」を漢字で書いているんですが、右側の「なかまっ子放課後イングリッシュスクール」のところ、「市内の子ども」はひらがなで書かれているんですね。漢字で書いたりひらがなで書いたりされていますが、その後をずっと読みますと、ここ以外は全部ひらがなで通しているようですね。「子ども」の「ども」をひらがなで書くことについては、いろいろ意見があると思いますが、私はひらがなで書いたほうがいいのではないかと思いました。

それから「事業の実施状況」のイングリッシュスクール事業のところですが、東小と南小は2クラスずつ設けてあり、その他は全部1クラスになっています。参加人数が30人以下のところは1クラスというのは分かるんですが、北小は43名で1クラスとなっているんですよ。この事業は今年も実施されると思いますので、参加が40名以上となれば、2クラス

にすることを考えてもいいのではないかなど、意見として申し上げます。

それからもうひとつ、イングリッシュスクール事業のところ、事業目的として「英語の定着を図る」と書かれています。小学5年生、6年生の段階で英語の定着を図る、というのは非常に高度な目的だと思うんですね。英語に慣れ親しむ、というようなことであればいいと思いますが。放課後45分間の授業の中で英語の定着を図るというのは、中学3年生でも難しいものだと思います。趣旨はわかりますので、表現を変えたほうがいいと思います。

ちょっと引っかけたのが、23ページ「事業の目的」の上から2行目に「中間市民の自発的な学習活動を援助するとともに、地域社会の形成文化の振興等」とあります。「文化形成」なら分かりますが、「形成文化」という言い方はなじまないのではないかと思います。それから同じページの一番下、「中央公民館利用者が主に高齢者となっているため、学生及び子育て世帯が利用できる事業等整備を検討していくことが必要。」とあります。高齢者が利用するのも大変いいことだと思うんですよ。高齢者が主となるよりは幅広い利用が望まれるため、学生等の利用も検討することが必要だ、という読み取り方ができてしまうので、これはちょっと気になりました。

25ページですが、「学校体育施設開放」のところに喫煙の問題が書かれています。今、校内は全面禁煙ですよ。社会教育で学校体育施設を利用する方々にもそれを守っていただくのが基本だと思いますが、これを読むと喫煙の痕跡があると。それについては指導徹底して、もし改善されないのであれば貸出禁止を検討しなければならないという書き方をされているんですよ。これは貸出時に禁煙を前提に話をされるのか、それとも、どうしても喫煙したいのであれば何か対応を考えてもらうという意味なのか。学校の教職員に対しては禁煙を徹底させて、一般の市民に対しては喫煙をしてもいいという受け止め方を私はしてしまったんですよ。そこが気になりました。

あと、評価委員の意見については、昨年度と比べたら非常によくまとまっているんですよ。私もその通りだと思いました。以上、意見と質問と両方言いましたが、よろしくお願いします。

河本委員

以上、9点ですね。質問について回答をお願いします。

片平学校教育  
課長

はい。12ページの「意識」は、何をしなくてはいけないのかという認識、行動意識といった意味合いで「意識」という言葉を使用しました。

学力向上に関する2つの会議ですが、「小中連携学力アップ推進協議会」は管理職である校長、教頭、主幹を中心とした会議です。これとは別に、実際に教壇に立つ先生方による担当者会議も設けた方がいいのではないかとということで、「中間市学力向上検討委員会」を挙げています。

17ページ、給食実施の効果についてですが、例えばケンカが減ったとか、そういった件数を出すのは非常に苦しいところがあります。ただ、先生方の実感として、そういったトラブルが少なくなったという報告は受けています。また、今まで学校に足が向かなかった子どもが、給食の時間を目当てに学校に来る姿とか、そこからまた教育活動に繋がられているところは非常に評価できると思います。トラブルが何件減った、ということを数値化できるのであればしたほうがいいのかもしれませんが、ちょっと難しいかと思っています。

古賀生涯学習  
課長

それでは生涯学習課所管部分についてご説明いたします。まず18ページ「こども」の表記ですが、これは単純に変換ミスです。「子ども」の「ども」はひらがな表記で統一したいと思います。また、イングリッシュスクール事業における北小の参加者数について、43名1クラスで対応できたとは聞いておりますが、確かに2つに分けたほうがいいです。議決をいただければ、今年度も11月から実施予定ですので、申込者数が30名を超えたときは2クラスで対応したいと思います。次に「事業の効果等」のところ、「英語の定着」という表現については「慣れ親しむ」のほうが適切だと思っていますので、変更したいと思います。

続きまして、23ページですね。「形成文化」、これは確かに「文化形成」でございます。これも単純な入力ミスです。申し訳ありませんでした。それから、「利用者が主に高齢者となっているため、」というところ、確かにご指摘の通り、高齢者が主に利用している状態は検討が必要であるかのように聞こえますね。申し訳ありませんでした。これは、現状の利用者は60歳以上の方が多いのですが、「生涯学習」は生まれてから死ぬまで続くという認識から、30代、40代の方にももっと利用していただきたいという趣旨でございます。日曜開館を導入したのもそのためです。しかし、表現方法はもっと気を付けるべきでした。申し訳ありませんでした。

続いて25ページ、学校体育施設における禁煙の対応です。学校敷地内で喫煙の痕跡が見られましたので、申込みに来られた方には随時注意をしていたところでした。それでもまだ続いたため、職員が現地に行って実際に利用中の方へも直接お願いし、しばらくその場で様子を見るといった形の対応をとりました。その結果、現在は喫煙の痕跡は見られなくなっています。

す。以上でございます。

衛藤委員

よく分かりましたけど、やはり引かかるのは教員の学力向上に対する意識の問題です。「意識」というのは「気付く」という意味だと思うんです。私も気になって辞書で調べてみました。意識は「気付く」、認識は「知る」と書いてありました。「気付く」ことには、すでに何度も事務局が取り組まれていますし、もう「気付く」という段階ではなく、「知る」段階になっていなくてはいけないと私は思ったので、「認識」のほうがいいのではいかと思っています。今年はドリカムノートとか、いろいろと工夫した取り組みがなされていますので、「認識」の段階に至ってもいいのではないかと思いましたので、あえてそこはこだわりました。以上です。

河本委員

よろしいですかね。他にご意見などおありの方は。よろしいですか。

村上教育総務  
課長

今いただいたご意見については、訂正できる分は適宜訂正いたしますが、次年度以降の参考にするという形をとる箇所もあるかと思えます。ありがとうございました。

河本委員

それでは、これは承認ということによろしいですか。

各委員

はい。

河本委員

次に移ります。第23号議案平成29年度一般会計補正予算について、説明をお願いします。

村上教育総務  
課長

はい。資料の4ページでございます。第23号議案平成29年度中間市一般会計補正予算要求について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条第2項第6号の規定により、委員会の議決を求めるものでございます。

まず、教育総務課所管分です。6ページをお願いします。歳入16款1項1目寄付金です。中間北小学校と北中学校の卒業生で、コカ・コーラウエスト元社長であった末吉紀雄氏が昨年お亡くなりになって、夫人の末吉升子氏が故人の遺志を継いで、本年4月、教材費購入のために両校に対してそれぞれ現金30万円、合計60万円を寄付されたものです。末吉氏は過去にも両校に寄付をなさったことがある方です。

次に7ページをお願いします。歳出10款2項2目、小学校の教育振興

費 18 節備品購入費として 30 万円を計上し、先ほど歳入でご説明した中間北小学校の図書充実などの購入費に充当いたします。同様に、10 款 3 項 2 目中学校の教育振興費 18 節に同額を計上し、中間北中学校の図書等教材費購入費に充当いたします。以上、ご審議のほどよろしく願いいたします。

河本委員 はい、よろしいですか。

各委員 はい。

古賀生涯学習課長 続きます。生涯学習課所管分についてご説明いたします。歳入からご説明いたします。資料の 8 ページをご覧ください。14 款県支出金 2 項県補助金 5 目教育費県補助金 1 節社会教育費補助金の補正額 65 万円は「放課後子ども教室事業補助金」の増額補正で、「なかまっ子放課後イングリッシュスクール事業」に対する補助金となっております。補助率は補助対象額の 2/3 でございます。

次に歳出をご説明いたします。9 ページをご覧ください。人権教育指導に要する経費、10 款教育費 4 項社会教育費 1 目社会教育総務費 15 節工事請負費 161 万円は、中底井野集会所内市有地の舗装工事費でございます。中底井野集会所は現在、地域の方に管理をいただいておりますが、地域の方が高齢となり、敷地内に雑草が繁茂して管理が非常に困難ということで、市で舗装工事を行うものでございます。

次に放課後対策に要する経費、11 節需用費 12 万円は、なかまっ子放課後イングリッシュスクール事業に伴うテキスト等の消耗品でございます。13 節委託料 455 万 5 千円は、なかまっ子放課後イングリッシュスクールの事業委託料となっております。今年度は 11 月からの実施を予定しております。各小学校において 3、4 年生を対象に週 1 回、年 14 回の予定でございます。

最後に中間市生涯学習センター運営に要する経費、11 節需用費 87 万 7 千円は生涯学習センター空調機に関する修繕料でございます。以上です。

河本委員 このことについて、ご質問がおありの方はどうぞ。

坂口委員 2 点ございます。9 ページです。イングリッシュスクール事業について、1 点目はどういう団体と委託契約されているのかという点と、もう 1 点は

補正計上額が455万5千円となっていますが、点検及び評価の結果報告書18ページには、委託料の決算額が710万9千円とあり、360万円ほど減っています。これは、今おっしゃったように11月からの実施であるため、通常710万円かかるところが450万円位になっているのかなと、推察いたしますが、2点お尋ねさせてください。

古賀生涯学習  
課長

はい。まず委託業者でございます。これは平成28年度、事業初年度にプロポーザルを行いまして、2者が手を挙げられました。その中から、通谷にありますハースサイドランゲージスクールというところが落札されましたので、28年度はそちらにお願いしたところでした。今年度、改めてプロポーザルを行うかどうかは検討中です。

次に決算額との差でございますが、昨年度の実施回数が23回ですから、今年度の約2倍になります。大きな理由はその回数の差ですね。

坂口委員

今年は何回実施するんですか。

古賀生涯学習  
課長

14回です。その差でございます。

それと補足ですが、こちらでも何度かご報告いたしましたとおり、九州国際大学の教授に入っていただいてイングリッシュスクール事業の検証委員会を実施いたしました。その中で内容を検討し、29年度も実施する場合はどんなやり方がいいか、ご教示いただきました。具体的には「スキット方式」という手法や、「フォニックス」という文字の読み方を取り入れること、それから目標を持った授業の進め方、要はただ45分間じっと聞いて終わるのではなくて、自分は何かをいつかの時点で発言しなくてはいけないと、最初に個人個人に目標を持たせることです。このため、カリキュラムの内容が去年とは少し違ってくると思います。そうしたことから、委託料も若干割増になっているかなというふうに思います。以上です。

河本委員

このことについて、他にご質問はありませんか。それでは承認ということとでよろしく願いいたします。その他何かありませんか。

それではないようなので、平成29年8月の定例教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

各委員

ありがとうございました。

[閉会時刻：11時15分]